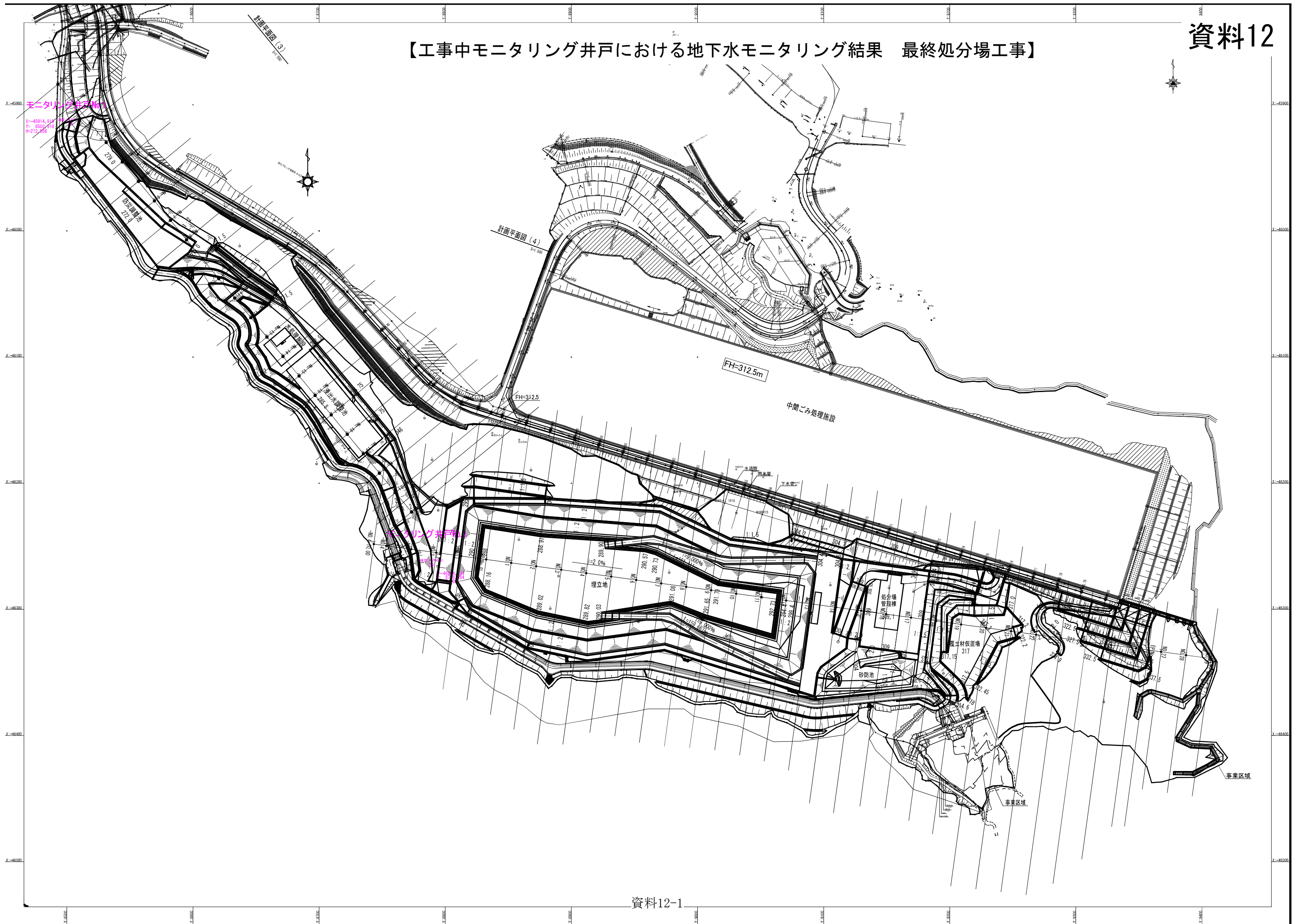


【工事中モニタリング井戸における地下水モニタリング結果 最終処分場工事】



(3)  
S=1/300

X:-45900 モニタリング井戸No.1

X=-45914.918  
Y= 8502.918  
H=272.856

X:-46000

X:-46100

X:-46200



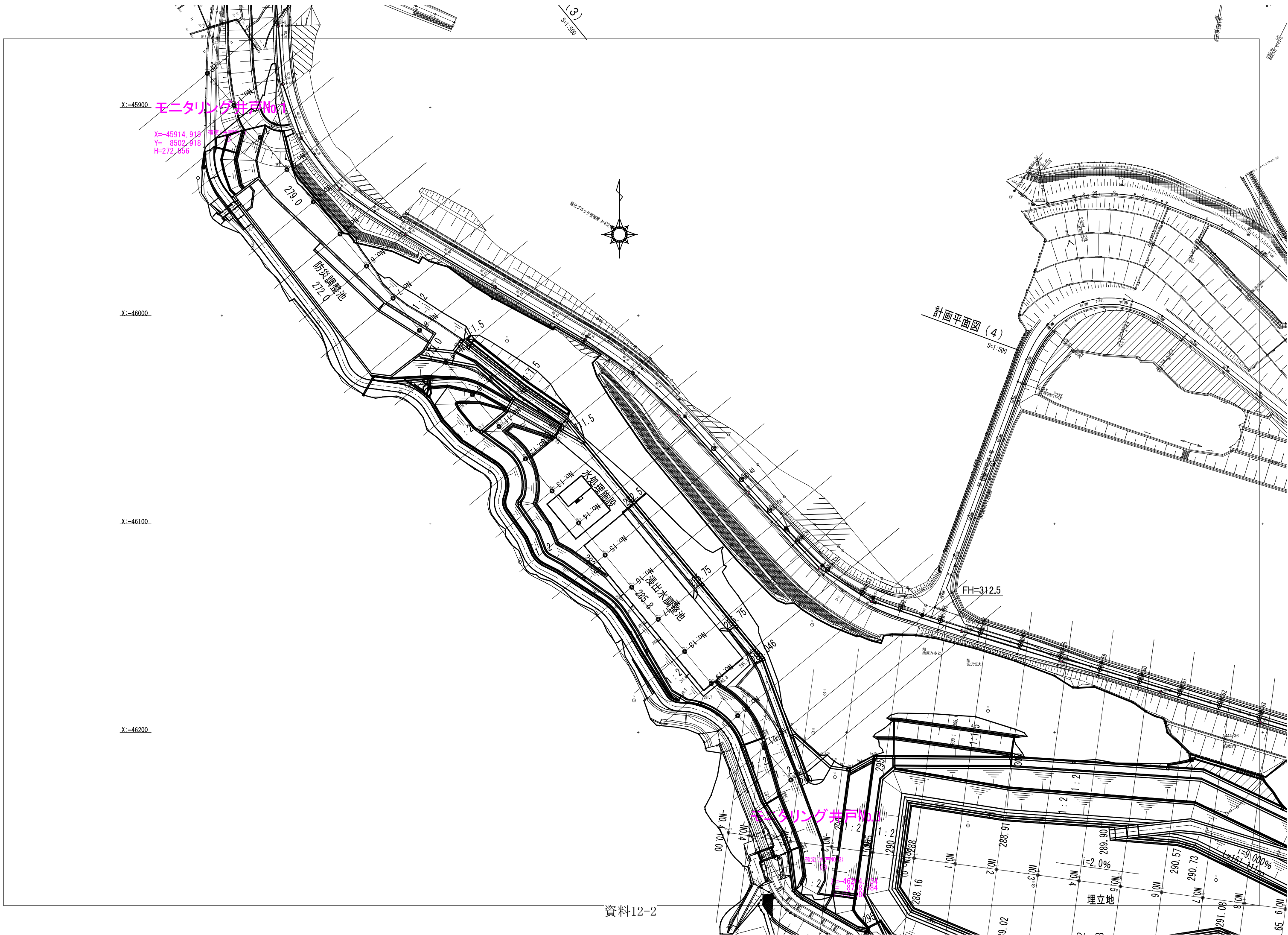
計画平面図(4)  
S=1/500

FH=312.5

モニタリング井戸No.2

X=-46194.814  
Y= 8788.884  
H=288.884

埋立地





# ボーリング柱状図

調 査 名 山梨県市町村総合事務組合立一般廃棄物最終処分場建設工事

ボーリング No.

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	No. 1	調査位置	山梨県笛吹市境川町寺尾付近			北緯					
発注機関				調査期間	平成 27年 4月 20日 ~ 27年 4月 22日		東経				
調査業者名	大林・久保田環境・湯澤・内藤建設共同企業体 電話	主任技師	現場代理人	コ ア 鑑 定 者	ボーリング責任者	重田 直輝					
孔口標高	272.55m	角 度	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 90°	使用機種	試錐機 YBM-05 エンジン NFD-8	ハンマー落下用具	ポンプ V5
総掘進長	7.00m										

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ( )	掘進 月 日						
											深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値													
1	271.45	1.10	1.10		埋土	黄褐			埋土は礫混じり粘性土で、不均質である。 φ5~10mm程度の角礫を混じる。	4/13 0.90	10	20	30	0	10	20	30	40	50	60							
2	270.75	0.70	1.80		粘土質シルト	茶灰			土質は全体に均質。 全体に少量の植物片混じる。																		
3					玉石混じり砂礫	暗褐			礫はφ5~50mm程度の角礫によって構成される。 所々掘進5~7cm程度の玉石を混入する。																	4/20	
4	267.95	2.80	4.60		シルト	青灰			全体にほぼ均質なシルト。																		
5	265.85	2.10	6.70		シルト	青灰			全体にほぼ均質なシルト。																		
6	265.55	0.30	7.00		固結シルト	青灰			G.L-6.70m~10.40mまで半固結状のシルトで短柱状にて採取される。 G.L-10.40m以下少量の礫分を混じる。																	4/21	
7																											4/22
8																											

# ボーリング柱状図

調 査 名 山 梨 県 市 町 村 総 合 事 務 組 合 立 一 般 廃 棄 物 最 終 処 分 場 建 設 工 事

ボーリング No									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事 業 ・ 工 事 名

シート No

ボーリング名	No. 3		調査位置	山 梨 県 笛 吹 市 境 川 町 寺 尾 付 近			北 緯					
発注機関				調査期間	平成 27年 4月 22日 ~ 27年 4月 24日		東 経					
調査業者名	大林・クボタ環境・湯澤・内藤建設共同企業体 電話		主任技師	現 場 代 理 人	コ ー ア 鑑 定 者	ボーリング責任者	重 田 直 輝					
孔口標高	286.98m	角 度		方 向		地盤勾配		使用機種	YBM-05	ハンマー落下用具	半自動落下装置	
総掘進長	10.08m				試錐機	YANMAR NFD-8		エンジン	ポンプ		KANO V5	

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原 位 置 試 験 深 度 (m)	試 験 名 および結果	試 料 採 取 深 度 (m)	試 料 採 取 番 号	試 料 採 取 方 法	室 内 試 験 ( )	掘 進 月 日
											深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0								
1	285.28	1.70	1.70		埋土 (礫混じり粘性土)	暗茶			埋土は全体的に不均質な礫混じり粘性土。礫はφ2~100mm程度の角礫主体とする。	4/22 0.90												
2					砂混り粘性土	茶褐			全体に粘土は均質で砂分を混じる。G.L-3.00m以深少量の小礫を混入する。													
3	283.28	2.00	3.70		玉石混じり砂	暗緑灰			礫はφ2~50mm程度の垂円~垂角礫により構成される。マトリックスは細~粗砂。所々、φ50~100mmの玉石混じる。													
4	282.73 282.38	0.55 0.35	4.25 4.60		粘土質砂礫	茶灰			礫はφ2~50mm程度の垂円~角礫により構成される。マトリックスは粘性土、全体に粘土分多い。													
5	281.73 281.18	0.65 0.55	5.25 5.80		粘土混じり砂	茶灰			礫はφ2~50mm程度の垂円~角礫により構成される。マトリックスは粘性土で部分的に粘性土主体となる。													
6					砂	茶灰			礫はφ2~50mm程度の垂円~角礫により構成される。マトリックスは細~粗砂。													
7					火山灰質砂	褐灰~茶灰			礫はφ2~30mm程度の垂円~角礫により構成される。マトリックスは凝灰質シルト及び細~粗砂。													
8					火山灰質砂	褐灰~茶灰			礫はφ2~30mm程度の垂円~角礫により構成される。マトリックスは凝灰質シルト及び細~粗砂。													
9	277.38	3.80	9.60		火山灰質砂	褐灰~茶灰			礫はφ2~30mm程度の垂円~角礫により構成される。マトリックスは凝灰質シルト及び細~粗砂。	9.15	19	31/8	50/18	83								
10	276.90	0.48	10.08		ローム混じり砂礫 (風化岩)	茶灰			ローム混じり砂礫状を呈すが、風化岩と推察される。所々粘土化部分有り。	9.33 10.00 10.08	50/8		50/8	188								

# 地下水水位観測結果

